

さぬき市立学校施設の耐震化状況・学校別一覧

〈平成31年4月1日現在〉

Table with columns: 施設名, 棟名称, 棟番号, 枝番号, 建築年月, 構造, 階数, 面積 (㎡), 耐震区分, 第1次診断 (年度, Is値), 第2次診断 (年度, Is値, q値), 改修 (年度, Is値), 改修後 (q値). Rows are categorized by school type: 小学校, 中学校, 幼稚園・こども園.

〈耐震診断の対象〉

※昭和56年以前の旧耐震基準で設計された建築物で、階数が2以上又は床面積が200mを超えるもの(木造以外)としています。

〈用語の説明〉

※【構造】欄の「R」とは鉄筋コンクリート造を、「S」とは鉄骨造を示します。

※【区分】欄の「旧」とは新耐震基準施行（昭和56年）以前に建築されたものを、「新」とは新耐震基準施行後に建築されたものをいいます。

※【1次診断】とは建物の耐震性能を簡略に評価するための手法をいいます。

・「Is値<0.9」の場合：第2次診断による詳細な評価が必要。

・「0.9≤Is値」の場合：建物の耐震性が確保される。

※【2次診断】とは建物の耐震性能を詳細に評価するための手法をいいます。

・「Is値<0.3」又は「q値<0.5」の場合：大規模地震による倒壊又は崩壊の危険性が高い。

・「0.3≤Is値<0.7」又は「0.5≤q値<1.0」の場合：大規模地震による倒壊又は崩壊の危険性がある。

・「0.7≤Is値」かつ「1.0≤q値」の場合：大規模地震による倒壊又は崩壊の危険性が低い。

※【Is値】とは建築物の耐震性能を数値化したもので、値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。

※【q値】とは地震による水平方向の力に対して建築物が対応する強さを表します。

※【耐力度調査】とは建物の老朽化を総合的に評価する調査で、耐力度点数は建物の危険の度合いを示し、4,500点以下で文部科学省の改修要件となっています。